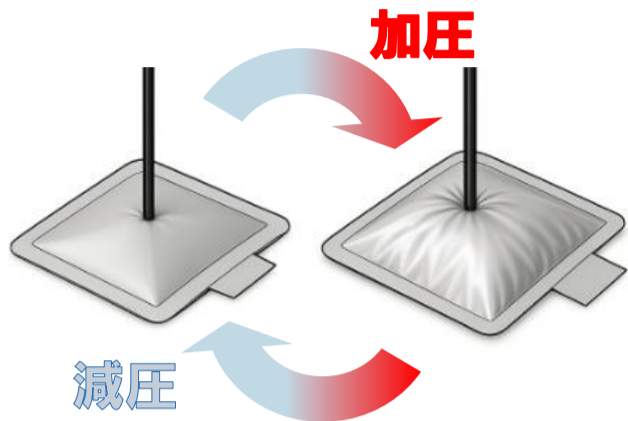


内圧疲れ試験

圧力変動と温度条件を自在に再現します。



加圧・減圧のイメージ

試験対象

- ▶ アルミニウムや樹脂のラミネート袋
- ▶ 金属と樹脂の複合容器 など

試験条件

- ▶ 100万サイクルに及ぶ膨張収縮
- ▶ 数か月間にわたって開裂まで試験 など

当社試験の特徴

① 圧力制御

内圧は0～1 MPaの範囲で任意に設定可能です。

② 温度制御

室温から80℃までの温度環境下で実施できます。

③ 圧力媒体

空気のほか、ご指定のガスにも対応します。⚠

④ 薬液対応

袋内に薬液を塗布した状態での疲労試験が可能です(袋内反応と内圧疲労の同時評価に対応)。⚠

⑤ 観察・評価

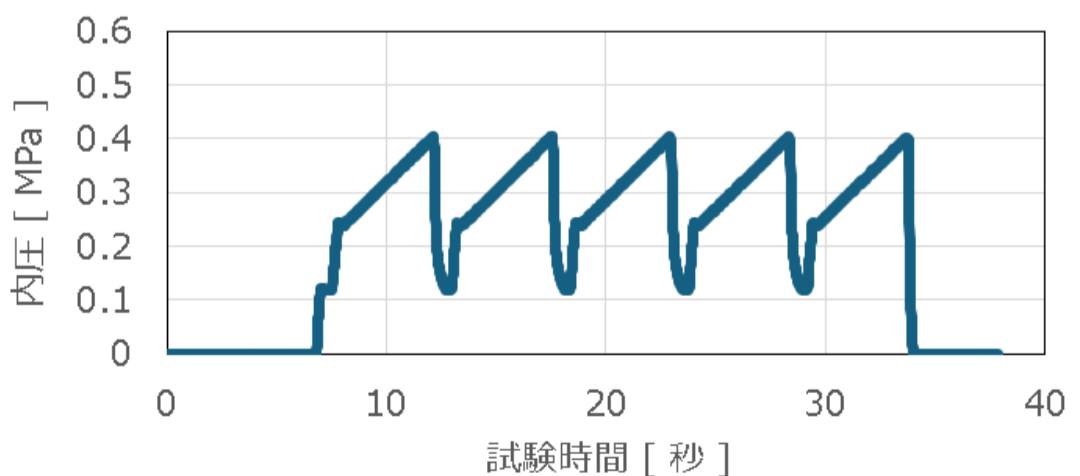
断面観察により、開裂部周辺を詳細評価します。



当社基準による安全性審査を通過した場合に限り実施いたします。

疲れ試験の例

項目	内容
試験片	PUチューブ (内径4 mm, 外径 6 mm)
試験温度	室温
圧力媒体	空気
設定内圧	0～ 0.4 MPa
内圧波形	右図のとおり
サイクル数	5 回



内圧波形の例

